

- 1 教育事業名 「親子で書き初め体験 in とかしき」
- 2 ね ら い 書家による指導や講話を交え、書のもつ素晴らしさを理解し、興味関心をもたせ、自分なりの文字の表現を楽しむことができる。
- 3 期 日 令和5年1月14日(土)～15日(日) 1泊2日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 15家族30名
- 6 参加人数 5家族15名
- 7 参加者内訳 未就学児1名、小学生8名、保護者6名
- 8 講師 新里 利浩 氏 (日本結書協会代表)

9 実施プログラム

1月14日(土)	10:00	11:30	12:00	13:00	13:30	15:30	16:30	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
	フェリーにて泊港出港	本館移動	オープニング 入所OR	屋食	準備	ワークショップ 書き初め	作品交流	自由時間	夕食	星空観察	入浴	就寝準備	就寝
1月15日(日)	6:00	9:00	10:00	12:30	13:30	14:00	14:30	15:30	16:40				
	起床・洗面 朝食 清掃 清掃チェック	所内散策	文字に親しもう 作品交流	屋食	片付け	エンディング	渡嘉敷港 移動 乗船	フェリーにて渡嘉敷港出港	とまりんにて解散				

10 事業の様子



筆の使い方



基本練習



講師による助言



書き初め



小筆の使い方



筆の洗い方



文字に親しもう①



文字に親しもう②



文字に親しもう③

11 エピソード（参加者の声、アンケートより）

【参加者の声】

①事業全体を通して

- ・子どもたちを中心に自主的に行動ができてよかった。
- ・初めての参加で不安もあったが、親子共々楽しく過ごすことができてよかった。
- ・みんなでいっしょに書き初めをしたことが楽しかった。
- ・学校では習わない書き方ができておもしろかった。

②ワークショップ・書き初めについて

- ・子どもにも保護者にも基本から分かりやすく丁寧に教えてくれたので、楽しく体験できた。
- ・普段、親子で経験したことなく子どもが集中して取り組む姿が見られてよかった。
- ・きれいな書き方がわかった。
- ・字を書く前に、筆の使い方を練習すると書きやすくなることが分かった。
- ・ていねいに教えてくれて、学校より楽しいと思えた。

③星空観察について

- ・曇っていたので残念だったが、天体ショーがあるときなど、もう一度訪れてみたい。
- ・星が見え隠れしていたが、星座アプリで楽しく観察することができた。
- ・スマホのアプリで見ると木星も見えてすごかった。
- ・星座早見盤を貸してくれて、星座の名前が分かった。

⑤文字に親しもうについて

- ・今までに書いたことのない書だったので楽しかった。
- ・文字を崩すというのは意外と難しかった。ポイントをおさえて崩させる先生はすごい。
- ・これまでに習ったことのない面白い文字の書き方を教えてもらい、楽しく学ぶことができた。
- ・すごくきれいに書けたのでうれしかった。
- ・自分の好きな字を先生が書いてくれて、それを見て書けたので楽しかった。
- ・書き初めをおもしろくしてよかった。学校ではていねいにしなさいだからなおさら。

12 担当者所見

(1) 成果

- ・講話後、筆使いの基礎練習を子どもたちだけでなく保護者にも分かりやすく説明してくれたことで、ゆとりをもって取り組むことができた。
- ・一人一台のテーブルでスペースを十分に確保し、親子で並んで書道に取り組むことで、集中する場面や助言する場面がみられる等、楽しく取り組んでいる様子が見られた。
- ・参加者それぞれの好きな文字を、書家が手本として書いてくれたことで、意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・講師が準備から片付けまでの一連の流れを、その都度説明してくれたことで、子どもたちは保護者に頼ることなく、主体的に自分で準備、片付けを行うことができた。

(2) 課題

- ・講師が指導できる人数を事前に話し合う必要がある。
- ・準備や片付け、休憩等の時間を含め、活動プログラムの時間配分の検討が必要である。